

3 教育方針

令和6年度

教育方針
志高く、展望は広く、学習を深く

教育目標

新しい時代に即応した高等学校教育を施し、社会の有為な形成者としての資質を育成する。

- 1 豊かな心、高い知性と徳性を養うとともに、生きる力を育む。
- 2 自主的・創造的な活動をうながし、個性豊かな人間を育てる。
- 3 互いに人格を尊重し、真理と正義を愛し、社会のよりよい形成者としての資質を養う。

目指す学校像

さまざまな学習歴や生活歴をもった生徒が個々の事情に応じて自分のペースで学ぶ中で、

- 1 基礎学力の定着を図り、確かな学力の向上を目指す。
 - 2 社会規範意識の涵養や自己管理能力の高揚を図る。
 - 3 各人の違いを理解し、豊かな人間性を育む。
- などに取り組み、社会の一員としてたくましく生きることが出来る生徒を育成する。

モットー： **柔軟で夢のある単位制高校**

令和6年度の重点目標

- 自分を大事にするとともに、他人を思いやる心を持てるよう粘り強く指導に取り組む。
- 授業のユニバーサル化や個に応じた支援や配慮など特別支援教育の充実を図る。
- 各教科等の学習過程を踏まえて、ICTを積極的に活用し、学習指導の効果を高める。
- 地域社会や企業、外部機関との連携を図り、地域に愛着を持つ生徒を育成する。

この重点目標の具体化に向けた各分掌、各年次の目標

《教務部》

- 1 学習習慣を確立して単位修得率の向上を図る。
- 2 基礎学力の定着を図る。
- 3 生徒個々に応じた計画的な履修を指導する。

《進路指導部》

- 1 生徒の適性・個性を生かした進路選択を指導する。
- 2 生徒・保護者・教職員の三者で協力した指導を行う。
- 3 進路意識啓発の場を設定し、個々の進路実現に向けた意識向上を図る。

《生徒指導部》

- 1 健全な集団生活を通じて自立性の向上と他者への尊重を図る。
- 2 生徒会活動や行事を通じて、生徒の社会性の向上を図る。
- 3 保護者や地域と連携し、規範意識の高揚に努める。

《保健・支援・相談部》

- 1 生涯を通して健康で安全な生活を送ることが出来る能力を育成する。
- 2 研修会や情報交換会を通して課題を共有し、学習環境を整える。
- 3 特別支援教育や、

- 1年次
- ・生活習慣を確立し、安定した高校生活を送る。
 - ・基礎学力の定着を目指し、学習習慣を身につける。
 - ・集団活動を通じて、自他を大切にする心やコミュニケーション能力を養う。

- 2年次
- ・基礎学力の向上と進路実現にむけて、学習習慣の定着を図る。
 - ・コミュニケーション能力や協調性など社会に適應する能力を育成する。
 - ・学校生活全体を通して集団生活のルールを身につけることができるよう、基本的生活習慣の確立を図る。

- 3年次
- ・社会の形成者として必要な自己管理能力を育成する。
 - ・社会における自己の役割・課題を理解し、生き方を考える。
 - ・進路実現に向け、自立した学びを实践する。

- 4年次
- ・自己管理で、時間割に沿って主体的に学習に取り組む能力を育成する。
 - ・今後の目標を定め、必要に応じて自己改革できる態度や能力を育成する。
 - ・進路実現に向けて、情報を収集し主体的に進路を選択できることを目指す。

国 語

- ・社会とのつながりを意識させることで、意欲的に基礎学力を定着させる。
- ・図書室での読書や調べ学習を通して、ものの見方や考え方を広げ、言語生活を豊かにさせる。
- ・定期的に小テストを実施して学習の到達度を確認し、フィードバックする。

地歴公民

- ・中学校までに学習した社会科の内容をふまえて、基本的知識の定着を図る。
- ・自己と社会の関連性を主体的に理解させる。
- ・広い視野に立って社会を認識できる力を育てる。

数 学

- ・授業中に確認プリントを行うことにより、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る。
- ・数学的な見方や考え方を養い、物事を分析する力や、根拠に基づいた判断ができる力を身に付けさせる。
- ・日常生活で応用されている数学等を扱うことにより、数学への興味・関心や学習意欲を向上させる。

理 科

- ・積極的に観察や実験を行い、自然の事物・現象に関する興味を向上させる。
- ・授業内で確認プリント・小テストなどを行い、科学の基礎的な内容の定着を図り、身のまわりの事象を、科学的な視点でとらえることができる力を身に付けさせる。
- ・科学的な見方・考え方を身につけ、それらを日常生活の中で活用できる力を養う。

保健体育

- ・基礎体力の向上を図り、主体的に豊かなスポーツライフを設計できる生徒を育成する。
- ・安全安心に運動することの大切さを理解させ、運動を通じて規範意識の向上を図る。
- ・協調性を備え、積極的にコミュニケーションを図れる生徒を育成する。
- ・健康について学ぶ中で、自己管理能力の向上を図る。

芸 術

- ・豊かな情操を養い、個々の興味関心に応じた芸術的能力を伸ばす。
- ・音楽の諸活動から表現方法を学び、探求することで自己表現能力を伸ばす。
- ・美術の創造的活動を通じて、表現と鑑賞の能力を伸ばすとともに、美術を愛好する心情を養う。
- ・書道の基礎的な用筆法や技法を学び、作品制作を通じて自己表現する能力を伸ばす。

英 語

- ・基礎学力の実態を基礎学力テストで把握する。
- ・基礎学力の定着を図るため、英単語テストなどを継続的に実施する。
- ・授業において、生徒同士やALT、教員との間で、英語及び日本語を通してコミュニケーションを図ることができるようにする。

家 庭

- ・生活に関わる基礎的・基本的な知識と技術を学び、家庭生活や地域生活の充実向上を図る能力を身に付けさせる。
- ・調理実習を通し、食生活を総合的にデザインする能力を身に付けさせる。
- ・ライフステージにおける乳幼児期の重要性を理解させ、保育者として、また地域の一員として、子どもと適切に接する態度を育成する。

商 業

- ・商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識、技術を習得させる。
- ・ビジネスに対する望ましい心構えや態度を身につけさせる。
- ・経済社会の一員として発展に寄与する意識を啓発する。

